

講義名	観光コミュニケーションA			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

グローバル社会の進展に伴い、海外へ旅行する日本人、そして、海外から来日する外国人観光客の数は増加の一途をたどっている。また、日本における観光産業の充実を図るための諸施策も大きな課題となっている。特に、旅行・観光・ホテル・レストランサービス等の業種においては、英語の運用能力だけでなく、業界専門用語や独特の言い回しなど、業務遂行に必要な英語力を持ったプロの養成が急務であり、このような能力をもつ人材への高い需要がある。本コースでは、ツーリズムやホスピタリティビジネスなどに興味のある受講生が明確な目的を持ち、ツーリズムのプロとして必要な英語を学びながら学べる授業を編成する。「英語を学ぶ」というよりも、「英語で観光業務を学ぶ」という姿勢で取り組んで欲しい。上記は「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学部のディプロマポリシーに貢献するものである。

### 到達目標

- (1) 「旅行業」「航空業」「ホテル業」といった観光産業に必要な英語表現を習得できるようになる。
- (2) 観光コミュニケーションに必要なリスニング・スピーキング・リーディングのスキルに加えて、観光産業の基本的な知識を得られるようになる。
- (3) クラスメイトとのロールプレイを通じて、実践的な英語コミュニケーション力を養えるようになる。
- (4) 添削を通じて、文化の多様性を理解し、受容できる異文化コミュニケーション力を養えるようになる。

上記の到達目標は、海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を使い、観光英語検定の受験に必要な知識が得られることから、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学部のディプロマポリシーに達成に役立つ。

### 提出課題

- (1) 観光英語検定3級の単語集からの問題に解答し、Google formから提出する。
- (2) テキストの内容に基づいて講師が作成した演習問題からなるワークシートを提出する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

観光英語に関するクイズを実施する。受講生の提出課題の添削および返却、解説を授業で行う。

### 評価の基準

- (1) 課題 (40%)
- (2) クイズ (30%)
- (3) 最終試験 (30%)

\*コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる

### 履修にあたっての注意・助言他

- (1) 受講にあたっては、高校レベルの基本的な英語力を有すること。
- (2) 前掲のように、コースの準備は上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
- (3) 15分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の1にあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験資格を失い単位を取得できなくなる。3回の遅刻は欠席1回となる。
- (4) 教科書は当然、購入しているという前提で授業を実施する。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。
- (5) 課題は Word形式で提出すること。スマホからの写真や小テストでの提出物は受理しない。
- (6) 授業開始直後の約10分間を使ってクイズを実施するので遅刻しないこと。次年度の授業のクイズの追試は実施しない。
- (7) 教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可。必ず新しいものを購入すること。タブレットやスマホで教科書を開覧することは認めない。既に本コースを履修した人などからもらった教科書は使用できない。必ず、自身で新しい教科書を購入すること。
- (8) 授業中の態度が著しく悪い、教科書を持って来ないなどの行為が見られた場合は、大幅な減点となり落第する可能性があるため留意すること。
- (9) 提出課題を含むすべての連絡事項はRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。

\*その他、授業に関する詳細については第1回目の講義資料で説明するので、必ず出席すること。

### 教科書

.English for Tourism Professionals.	Reiko Fujita	Cengage Learning ELT	2,640	9784863123564
-------------------------------------	--------------	----------------------	-------	---------------

### 参考図書


### その他

テキストの内容に準拠した担当者作成のワークシート等、適宜、授業中やRyuka Portalのキャンパスクロスを通じて配布する。

### 授業計画

- 第1回 コースガイダンスとペアワーク、英語による他ご紹介  
(予習内容) テキストU1のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (120分) 観光英単語課題 (120分)
- 第2回 Unit 1 Recommending a Tour (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU1のReadingセクションの単語学習と読解課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第3回 Unit 1 Recommending a Tour (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキストU2のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分) 観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストのReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第4回 Unit 2 Taking a Tour Booking (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU3のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第5回 Unit 2 Taking a Tour Booking (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキストU3のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分)  
観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストのReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第6回 Unit 3 Escorting a Tour (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU4のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第7回 Unit 3 Escorting a Tour (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキスト4のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分) 観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストのReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第8回 Unit 4 Welcoming International Tourists (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU4のReadingセクションの単語学習と読解課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第9回 Unit 4 Welcoming International Tourists (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキストU5のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分) 観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストU5のReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第10回 Unit 5 Taking an Airline Reservation (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU5のReadingセクションの単語学習と読解課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第11回 Unit 5 Taking an Airline Reservation (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキストU6のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分) 観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストU6のReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第12回 Unit 6 Giving Flight Information (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU6のReadingセクションの単語学習と読解課題 (120分)  
(復習内容) テキストの会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第13回 Unit 6 Giving Flight Information (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) テキストU7のLearning-upエクササイズと会話リスニング課題 (60分) 観光英単語課題 (60分)  
(復習内容) テキストU7のReadingセクションとペアワークの復習 (120分)
- 第14回 Unit 7 Helping Passengers Check in (1) Vocabulary & Listening Exercise  
(予習内容) テキストU7のReadingセクションの単語学習と読解課題 (120分)  
(復習内容) テキストU7の会話文の読解とリスニング復習、次回の単語クイズの準備 (120分)
- 第15回 Unit 7 Helping Passengers Check in (2) Reading & Pair Work  
(予習内容) Readingセクションとペアワークの復習、定期試験の準備 (240分)

\*授業の進捗状況により内容を調整する場合がある。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

授業内容に応じて、上記を適宜採用する。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

このクラスは以下の点において、「観光ビジネスのスキルを備え、高い人間力を有する学生を育てる」という観光学部のディプロマポリシーに沿ったものである。  
(1) 海外の顧客満足を得るために必要なホスピタリティと英語によるコミュニケーション力を培うことができる。また、授業では観光英語検定の受験に必要な知識が得られるため、観光業界に就職した際、それを活かすことができる。  
(2) ホテルやアライバル関連企業で就業に必要な英語コミュニケーション能力だけでなく、特にホテル業界で仕事を遂行するうえで必須の知識も習得できるため、「ホテル業」といった観光関連産業や地域の観光団体に就職した際にも実践することができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業に関する疑問は随時受付け、授業中あるいはキャンパスクロスを通じて回答する。受講生からの提出物を添削し、フィードバックを行う。授業でペアワーク等、実践的な授業を実施する。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験なし。

### 備考

教科書を購入しなれば課題を提出できないので、履修登録後、すみやかに購入手続きをすること。前掲のように、教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。教科書は解答が書かれた他人からもらったものは使用不可。必ず新しいものを購入すること。タブレットやスマホで教科書を開覧することは認めない。既に本コースを履修した人などからもらった教科書は使用できない。必ず、自身で新しい教科書を購入すること。  
授業に関する連絡事項はすべてキャンパスクロスを通じて行う。